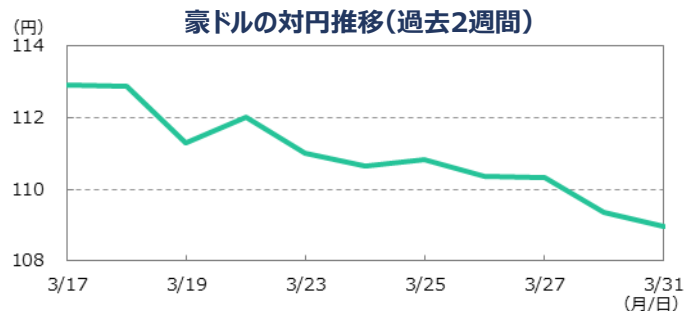
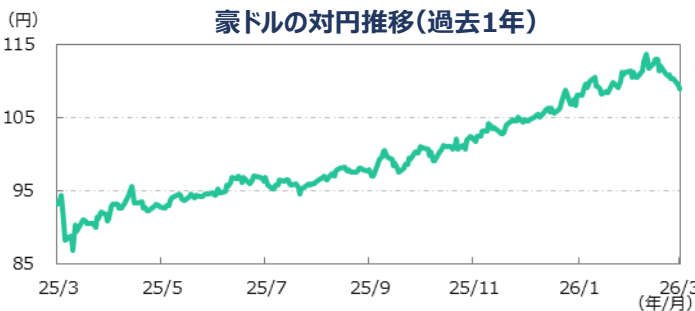


為替 ここ2週間の豪ドルの対円レートは、下落しました。

25日発表の2月消費者物価指数（CPI）は前年比+3.7%と伸び率は前月から0.1%の低下にとどまり、今後の利上げ予想を覆すには至らず、市場への影響は限定的でした。この期間、中東地域における紛争長期化などへの懸念を背景に、各国のインフレ懸念や世界経済の先行き不透明感が強まりました。一部の主要国・地域で利上げが意識され始め、利上げで先行する豪州の優位性が揺らいだことや米国の利下げ観測も後退したことなどから、豪ドルは対米ドルで下落し、対円でも下落しました。

円/豪ドル (単位:円)	2026/3/31	2週間前	1か月前	3か月前	6か月前	1年前
	108.96	112.91	111.26	104.53	97.88	93.19

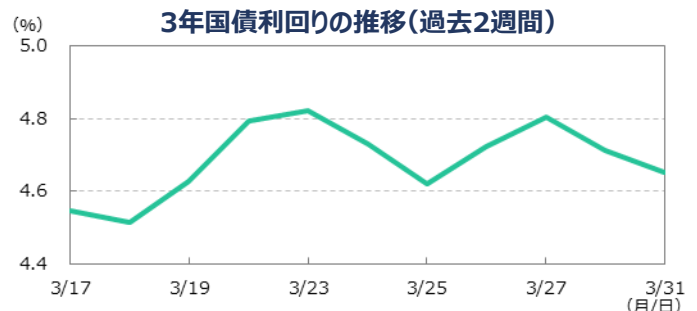


(注) 左グラフは2025年3月31日～2026年3月31日、右グラフは2026年3月17日～2026年3月31日。日時はニューヨーク時間。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

金利 ここ2週間の豪州3年国債利回りは、上昇しました。

中東情勢の緊迫化に伴う原油価格上昇によるインフレ懸念の高まりを受けて、豪州準備銀行（RBA）による追加利上げ観測が高まったことなどから、23日にかけて豪州3年国債利回りは大きく上昇（債券価格は下落）しました。その後は、23日に米トランプ大統領が米国によるイランの発電所への軍事攻撃を延期すると明らかにしたことや、3月末にかけては世界経済の見通しが引き下げられたことなどから米国国債利回りが低下し、連れて豪州3年国債利回りも低下する局面がありました。

豪3年国債利回り (単位:%)	2026/3/31	2週間前	1か月前	3か月前	6か月前	1年前
	4.65	4.55	4.22	4.13	3.55	3.70



(注) 左グラフは2025年3月31日～2026年3月31日、右グラフは2026年3月17日～2026年3月31日。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。